

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
A・B・E	音楽	オーケストラ等	[C区分]東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	-	オーケストラ公演<東京フィルがやってきた！>	・オープニング：トアンダーソン・舞踏会のみ女 ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介)トアンダーソン楽曲より (省略) ・鑑賞：小学校が選曲した楽曲の演奏(以下の中から選曲) トロジャー・サウンド・オブ・ミュージックより ・トムリグスキー展覧会の絵 トドヴァルザーク・交響曲第9番「新世界より」から第4楽章 ・アンコール：トJシュトラウス・ラデッキー行進曲 他	
B・C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	[C区分]-一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	音楽として聴く能「囃子堂」	早稲 二番三 共演 神楽 獅子	

【A区分・B区分団体】

B	音楽	合唱	東京合唱協会	○	○	○	○	楽しい合唱・ミュージカルとオペレッタ	【第1部】楽しい合唱 小学生 歌えバンバン・大きな古時計 等 中学生 ハレルヤ・アヴェヴェルムコルプス・ソーラン節 等 (省略) 【第4部】オペレッタ【あまじやくとりのこ姫】台本:若林一郎 作曲:林 光	
B	音楽	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	○	○	○	○	仙台フィルハーモニー管弦楽団 オークストラコンサート2020	J.ウィリアムズ作曲(アメリカ)「スター・ウォーズ」組曲より メイン・タイトル 【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」 ～スーザ・行進曲「星条旗よ永遠なれ」 【裏方スタッフ紹介】ステージマネージャー、ライブラリアン、インスペクター、企画制作スタッフ ほか (省略) P.I.チャイコフスキー作曲(ロシア) バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ 他	
B	音楽	オーケストラ等	シエナ・ウインド・オーケストラ	○	○	○	○	夢とまほうの音楽会 ～ふしぎな楽器の世界へようこそ～	【オーブニング】リード・ギャロップ 【楽器紹介】小さな世界 【魔法の音楽①】「ハリー・ポッター」より「ヘドウィグのテーマ」(打楽器アンサンブル)等 (省略) 【共演コーナー】サントペーパ・バレエ(ボティバー・カッソン)で共演 【魔法の音楽②】魔法使いの弟子～ホール・ニュー・ワールド～火祭りの踊り 他	
B	演劇	児童劇	有限会社 劇団風の子北海道	○	○	○	-	子どもたちが主役！一緒につくらう「マーレンと雨姫」	「マーレンと雨姫」 原作 テオドール・シュトルム「たるの中から生まれた話」 脚色 多田徹、中島善 演出 鳴海雅雅 美術 有賀二郎 音楽 岸 功、菊池大成	
B	演劇	児童劇	有限会社 劇団かかし座	○	○	○	-	Wonder Shadow Labo(よみ)ワンダー シャドウ ラボ	「Wonder Shadow Labo」 脚本・構成・演出/後藤圭「シートの冒険」台本/若林一郎 音楽/石川洋光 児童参加プラン(脚本・構成・演出変更・監修/太宰久夫 舞台美術/齋藤浩樹 衣裳/中矢恵子 共演児童衣裳/小林巨和振付/楠原竜也 舞台監督/杉村向暉 高橋信濃(Mais A Soi) 音響/山北史郎(山北舞台音響) 照明/坂本義美(龍前舞台照明研究所) 影絵美術監修/後藤圭 影絵美術/劇団かかし座美術部、小田純治、小島直子、とうたいよう	
B	演劇	演劇	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク	○	○	○	○	座・高円寺レパトリー『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』	「フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～」 原作 宮沢 賢治、上演台本 佃 典彦、演出 西沢 栄治、 美術 長田 佳代子、振付 神在 ひろみ、音楽 園田 容子、 照明プラン 横原 由祐、音響プラン 島 猛、衣裳 仲村 祐妃子	
B	演劇	ミュージカル	東京演劇集団 風	○	○	○	○	全校児童・生徒参加によるミュージカル『星の王子さま』	星の王子さま 原作:サン＝テグジュベリ 翻訳:内藤濯 構成・演出:浅野佳成/作曲:八幡茂	R1 (継続)
B	舞踊	バレエ	スターダンサーズ・バレエ団	○	○	○	○	シンデレラ	第1部「バレエって何だろう」構成・演出 小山久美 第2部「舞台をみてみよう」 『シンデレラ』原作:シャルル・ペロー 作曲:セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付:鈴木稔	
B	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 梅若研能会	○	○	○	○	たいけんから学ぶはじめての能	●能「船弁慶」観世信光作 5番目物 狂舞物 太鼓物 典拠(よりどころ) 義経記 平家物語 源平盛衰記 ●狂言「雷(かみなり)」和泉流 神鳴(かみなり) 大蔵流	
B	伝統芸能	邦楽	東京打撃団(和太鼓)	○	○	○	○	和太鼓 東京打撃団公演	■萬葉(富田和明/作曲) ■焰迅(横山亮介/作曲) ■輪(露木一博/作曲) ■空透彩(内藤哲郎/作曲) ■X(高田淳/作曲) ■碧空(村山二朗/作曲) ■大太鼓(加藤拓哉/作曲) ■篠笛独奏(村山二朗/作曲)～華疾風(加藤拓哉/作曲) 等	
B	伝統芸能	演芸	日本講談協会	-	○	○	○	「講談語りすと」	〇しげられ地蔵 ※必ずしもこの演目が掛かるとは限りませんが、 子供達の心に残るような教訓を含んだ演目を口演いたします。	
B	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	-	BAKERU - デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 -	メインプログラム → ワークショップ	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogetjutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

	C区分団体		A・B区分団体											
	K119	K120	B12	B13	B14	B15	B16	B17	B18	B19	B20	B21	B22	K121
	東京フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人 京都能楽継子方 同盟会	東京合唱協会	仙台フィルハーモニー管弦楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	有限会社 劇団 風の子北海道	有限会社 劇団かかし座	特定非営利 活動法人 劇場創造 ネットワーク	東京演劇集団 鳳	スターダンサーズ・バレエ団	公益財団法人 梅若研能会	東京打撃団 (和太鼓)	日本演劇協会	WOW
巡回ブロック	A・B・E	B・C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
項目	オーケストラ等	歌舞伎・能楽	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演藝	メディアアート等
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	あり
9月1日	火	○	○											
9月2日	水	○	○											
9月3日	木	○	○											
9月4日	金		○											
9月5日	土													
9月6日	日	移												
9月7日	月	○	○											
9月8日	火	○	○	○										
9月9日	水	○	○	○										
9月10日	木	○	○	○										
9月11日	金	○	○	○										
9月12日	土	○												
9月13日	日													
9月14日	月		○											
9月15日	火		○	○										
9月16日	水		○	○										
9月17日	木		○	○										
9月18日	金		○	○										
9月19日	土													
9月20日	日													
9月21日	月													
9月22日	火	移												
9月23日	水	○	●											
9月24日	木	○	●	○										
9月25日	金	○	●	○										
9月26日	土	○												
9月27日	日													
9月28日	月		○											●
9月29日	火		○	○										○
9月30日	水		○	○										○
10月1日	木		○	○										○
10月2日	金		○	○										○
10月3日	土		●											
10月4日	日													
10月5日	月													
10月6日	火		○											
10月7日	水		○											
10月8日	木		○	○										
10月9日	金		○	○										
10月10日	土		●											
10月11日	日													
10月12日	月		○	○								移	○	●
10月13日	火		○	○									○	○
10月14日	水		○	○									○	○
10月15日	木		○	○									○	○
10月16日	金		○	○									○	○
10月17日	土													
10月18日	日													
10月19日	月		○					移			移		○	●
10月20日	火		○	○				○			○		○	○
10月21日	水		○	○				○			○		○	○
10月22日	木		○	○				○			○		○	○
10月23日	金		○	○				○			○		○	○
10月24日	土							○			○		○	○
10月25日	日							○			○			
10月26日	月		○					○			○			○
10月27日	火		○	○				○			○			○
10月28日	水		○	○				○			○			○
10月29日	木		○	○				○			○			○
10月30日	金		○	○				○			○			○
10月31日	土							○			○			
11月1日	日							○						
11月2日	月		○	○				○						
11月3日	火							○						
11月4日	水		○					○						○
11月5日	木		○	○				○						○
11月6日	金		○	○				○						○
11月7日	土							○						
11月8日	日							○						
11月9日	月		○	○				○			○			○
11月10日	火		○	○				○			○			○
11月11日	水		○	○				○			○			○
11月12日	木		○	○				○			○			○
11月13日	金		○	○				○			○			○
11月14日	土							○			○			
11月15日	日							○			○			
11月16日	月		○	○				○	○		○			○
11月17日	火		○	○				○	○		○			○
11月18日	水		○	○				○	○		○			○
11月19日	木		○	○				○	○		○			○
11月20日	金		○	○				○	○		○			○
11月21日	土		○	○				○	○		○			○
11月22日	日							○			○			
11月23日	月	○						○			○			
11月24日	火	○	○					○			○			○
11月25日	水	○	○	○				○			○			○
11月26日	木	○	○	○				○			○			○
11月27日	金		○	○				○			○			○
11月28日	土							○			○			
11月29日	日							○			○			
11月30日	月	○	○					○			○	○		○

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱、 <u>オーケストラ等</u> 、音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん とうきょうふいはもにこうきょうがくだん		
制作団体名	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F (京王新線 初台駅)		
電話番号	03-5353-9521	FAX番号	03-5353-9523
ふりがな	とうきょうふいはもにこうきょうがくだん		
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F (京王新線 初台駅)		
制作団体 設立年月	明治44年3月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	[理事長] 三木谷浩史 [副理事長] 黒柳徹子 [専務理事] 石丸恭一 [常務理事] 工藤真実 [理事] 浮舟邦彦 大賀昭雄 大塚雄二郎 小山田隆 篠澤恭助 田沼千秋 寺田琢 遠山敦子 野本弘文 韓昌祐 平井康文 宮内義彦 [監事] 岩崎守康 山野政彦 [評議員] 9名 [事務局] 22名	1) 団体構成員 [役員数] 27名 [団員] 136名 [団友] 50名 [事務局員] 22名 2) 主な構成員 [名誉音楽監督] チョン・ミョンフン [首席指揮者] アンドレア・バッティストーニ [特別客演指揮者] ミハエル・ブレトニョフ [桂冠指揮者] 尾高忠明 大野和士 ダン・エッティンガー [レジデント コンダクター] 渡邊一正 [アソシエイト コンダクター] チョン・ミン	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	事業部 大谷絵梨奈
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	鈴木美絵

制作団体沿革	<p>明治43年に名古屋に発足した音楽隊を母体として、昭和13年12月に「中央交響楽団」を結成。昭和23年4月に「東京フィルハーモニー交響楽団」となり、昭和27年12月1日に財団法人として認可を受ける。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行。日本で最も長い100余年の歴史をもち、約130名のメンバーでシンフォニーオーケストラとオペラ等の劇場オーケストラの両機能を併せもつ日本を代表するオーケストラ。「定期演奏会」や「午後のコンサート」「第九特別演奏会」などの主催公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、NHK や民放における放送演奏などによりホールに来場できない国内外の聴衆に音楽を提供しています。年間約400公演程の高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の普及に努めています。</p>		
学校等における公演実績	<p>◆<u>音楽鑑賞教室</u> 教育委員会の委託による「音楽鑑賞教室」を毎年20公演程度開催。</p> <p>◆<u>提携事業</u> 東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市との提携事業の一環として、青少年向けのワークショップ・公演を開催。</p> <p>◆<u>子ども向け自主公演</u> 2002年～2013年、自主事業「こども音・楽・館」を実施。新宿区、渋谷区等近隣区域の小学校において(養護学校含む)アウトリーチも行いました。</p> <p>◆<u>文化庁巡回公演事業</u> ・本事業のB区分採択となった平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」以降5年間に渡り北海道・北東北地域を担当。東日本大震災の被災地域を含め、のべ99校で公演を実施。B区分採択の業務である、事業の広報活動も積極的に展開し、各地域の教育委員会と連携し応募団体増加へ貢献した。また、一般の方々へ事業の告知として、地域新聞社やTV局へのアプローチに力を入れ広報宣伝活動へ従事し大きな成果を挙げました。 また、令和元年からもB区分採択団体として採択を受け、継続的に実施中。新たにC区分も採択を受け、新たな形態での事業を積極的に実施しています。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>◆<u>平成26年度</u> 「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」にて、2校実施。 実施校:北海道白糠養護学校(釧路市)、岩手県立宮古恵風支援学校(宮古市)</p> <p>◆<u>平成27年度</u> 長岡市との提携事業の一環として実施。対象:新潟県立長岡聾学校 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立光明特別支援学校</p> <p>◆<u>平成28年度</u> 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立清瀬特別支援学校</p> <p>◆<u>平成29年度</u> 「Music Program TOKYO」特別支援学校におけるオーケストラ公演 実施校:東京都立王子特別支援学校 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象:長岡市立総合支援学校、長岡市立高等総合支援学校</p> <p>◆<u>平成30年度</u> 「Music Program TOKYO」特別支援学校におけるオーケストラ公演 実施校:東京都立白鷺特別支援学校</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>DVDを提出いたします</p> <p>ID: PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	オーケストラ公演 <東京フィルがやってきた!>		
本公演演目	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング : ♪アンダーソン:舞踏会の美女 ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪アンダーソン楽曲より ・指揮体験 : ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 ・ワークショップ①:オーケストラと身体を動かしてみよう!(体感する音楽=ボディパーカッション) ♪シャーマン兄弟:It's a small world ♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より第1楽章抜粋(2020年ベートーヴェン生誕250年) ・ワークショップ②:日本唱歌を歌ってみよう!(日本の歌の魅力を再発見) ♪成田為三:浜辺の歌 など ♪各校校歌 ・鑑賞:♪学校が選曲した楽曲の演奏(以下の中から選曲) ロジャース:サウンド・オブ・ミュージックより ムソルグスキー:展覧会の絵 ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」から第4楽章 ・アンコール : ♪J.シュトラウス:ラデッキー行進曲 <p style="text-align: right;">公演時間(90分)</p>		
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	<p>70名からなるオーケストラの編成から、各セクション最小限の楽器数を取り出した小編成のオーケストラで演奏します。大編成のオーケストラでは気付かないような音と音との重なりや楽器の特徴などが分かりやすく、楽曲についても理解を深めることができます。多角的なアプローチとコラボレーションによって、クラシック音楽を「体感」できるプログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング:これから始まる演奏会に児童の期待が高まるような華やかな音楽で開演します。 ・楽器紹介:各楽器の音の出る仕組みや特徴をわかりやすく説明した後、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器がそれぞれフィーチャーされた曲を演奏します。 ・指揮体験:耳馴染みのある演目で、オーケストラの指揮者の役割に挑戦、体験してもらいます。 ・ワークショップ①:オーケストラと身体を動かしてみよう!(体感する音楽体験=ボディパーカッション) クラシックの名曲である「運命」に合せたボディパーカッションをオーケストラの演奏に合わせて共演し、「聴く」だけではなく、身体表現と関連付けて「体感」する事により、相互の関係から理解を深めることができます。 ・ワークショップ②:唱歌を歌ってみよう!(日本の歌の魅力再発見) 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」を来年にひかえ、海外からの日本文化へ注目が集まる中、日本では「日本の芸術文化を見直し、世界へ発信」する動きが高まっています。日本唱歌は、明治維新後、西洋音楽を取り入れ学校の音楽教育のために作られ、100年経った今もなお、歌い継がれています。改めて紐解く事で、子供たちに美しい日本の言葉とその音楽の魅力を伝えます。また、児童にとって最も身近な歌である「校歌」を、歌詞の内容を理解して歌う重要性を認識しながら、豪華なオーケストラアレンジと共に歌います。これらの体験を通して、言葉を大切に感情込めて歌う心を養い、本物のオーケストラサウンドを体感し、感性豊かな心を育成します。 ・鑑賞:各学校の教育方針に合せ、鑑賞教材を各学校に選曲していただきます。 ・アンコール:オーケストラの演奏に合わせて手拍子をし、テンポや強弱などを体感します。 会場全員でのアンコール演奏によって会場が一体となり、本演奏会が締めくくられます。 		
演目選択理由	日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。 これらの作品を通し、楽器紹介・指揮体験コーナーを含め、オーケストラと音楽をより身近に体感し興味を持っていただけるように工夫しております。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮体験コーナー 各校2～3名の児童に、ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章の一部分を指揮する事により、オーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。 ・ボディパーカッション 音楽の原点である打楽器を身体で表現することで、音楽への新たな興味を促します。 ・日本の唱歌を歌ってみよう! 成田為三:「浜辺の歌」などの唱歌の歌詞を再認識し、オーケストラと共演し、豊かな感性を育てます。 		
出演者	指揮者:三ツ橋敬子 他 司会:山本愛香、塚本江里子 他 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団ミニオーケストラ ※楽団員は別紙「東京フィルハーモニー交響楽団楽団員名簿」を参照下さい。		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 22名 スタッフ: 3名 合計: 25名	機材等 運搬方法	積載量 2 t 車長 6 m 台数 1台

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～10時/12時～13時	14時～15時半	0分	15時半～16時半	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	20～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)				
	本公演	20～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>1)ミニ・コンサート オーケストラや楽器の話を交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。</p> <p>2)自己表現:カラダと音楽 音楽を通して表現すること、音楽と身体表現を体感します。</p> <p>3)日本の唱歌を歌おう:言葉と音楽 日本の唱歌の歌詞を理解し、言葉と音楽の関係と唱歌の魅力に迫ります。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>小さな編成で音楽を鑑賞することにより、それぞれの楽器の音から、音楽への理解を深めるだけでなく、ハーモニー(協調性)の大切さを知る機会となります。</p> <p>また、音楽に合せたボディパーカッション(音楽と身体表現)や、日本唱歌を歌う(音楽と言語表現)等の体験が、「創造力、発想力、コミュニケーション能力」の育成と、「連携・協働・共有」の体験の場となることを目指します。</p>					
特別支援学校で の実施における 工夫点	演奏時間や共演内容を学校ごとに綿密に打ち合わせさせていただき、学校の特色に合わせ、児童生徒への負担が大きくなるように留意しながら、最大の効果を生む公演を行えるよう、様々な点で調整します。また、児童の皆様と積極的に交流を図ってまいります。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

東京フィルハーモニー交響楽団 出演表

コンサートマスター 三浦 章宏、近藤 薫、依田 真宣

第1ヴァイオリン	ヴィオラ	フルート	トランペット
小池 彩織	須田 祥子	神田 勇哉	川田 修一
高瀬 真由子	須藤 三千代	齊藤 和志	古田 俊博
坪井 夏美	高平 純	吉岡 アカリ	重井 吉彦
栃本 三津子	加藤 大輔	さかはし 矢波	杉山 眞彦
平塚 佳子	伊藤 千絵	名雪 裕伸	前田 寛人
浅見 善之	岡保 文子		
浦田 絵里	曾和 万里子		
加藤 光	高橋 映子	オーボエ	トロンボーン
巖築 朋美	手塚 貴子	荒川 文吉	五箇 正明
坂口 正明	中嶋 圭輔	加瀬 孝宏	中西 和泉
佐藤 実江子	蛭海 たづ子	佐竹 正史	辻 姫子
鈴木 左久	古野 敦子	浅原 由香	石川 浩
高田 あきの	村上 直子	杉本 真木	平田 慎
田中 秀子	森田 正治	三谷 真紀	山内 正博
津田 好美		若林 沙弥香	
中澤 美紀	チェロ		テューバ
中丸 洋子	金木 博幸	クラリネット	大塚 哲也
二宮 純	服部 誠	チヨ・スンホ	荻野 晋
廣澤 育美	渡邊 辰紀	アレクサンドロ・ベヴェラリ	
弘田 聡子	黒川 実咲	万行 千秋	ティンパニ&パーカッション
松田 朋子	高麗 正史	黒尾 文恵	岡部 亮登
渡邊 みな子	石川 剛	林 直樹	塩田 拓郎
	大内 麻央		高野 和彦
第2ヴァイオリン	太田 徹	ファゴット	木村 達志
戸上 眞里	菊池 武英	大澤 昌生	鷹羽 香緒里
藤村 政芳	佐々木 良伸	チェ・ヨンジン	縄田 喜久子
水鳥 路	長谷川 陽子	廣幡 敦子	船迫 優子
宮川 正雪	渡邊 文月	井村 裕美	古谷 はるみ
小島 愛子		桔川 由美	
榊原 菜若	コントラバス	森 純一	ハープ
山内 祐子	片岡 夢児		田島 緑
石原 千草	黒木 岩寿	ホルン	宮原 真弓
出原 麻智子	小笠原 茅乃	磯部 保彦	梶 彩乃
太田 慶	遠藤 柁一郎	齋藤 雄介	
景澤 恵子	岡本 義輝	高橋 臣宜	
葛西 理恵	小栗 亮太	今井 彰	
黒沢 誠登	熊谷 麻弥	大東 周	
二宮 祐子	菅原 政彦	木村 俊介	
山代 裕子	田所 慶大	田場 英子	
吉田 智子	田邊 朋美	塚田 聡	
吉永 安希子	戸谷 翔太	豊田 万紀	
若井 須和子		古野 淳	
		山内 研自	
		山本 友宏	

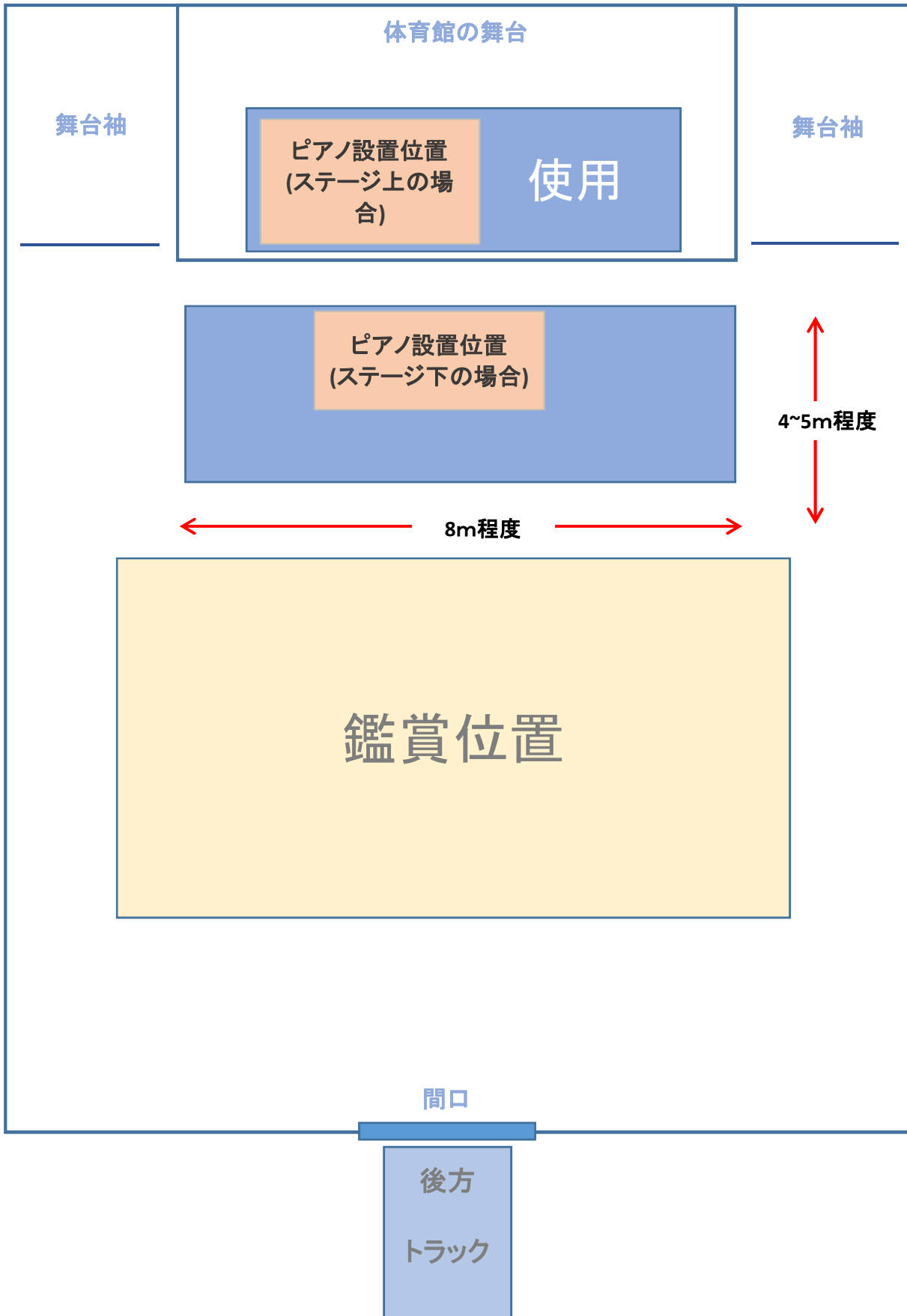
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K119	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	K	区分	C区分
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団			制作団体名	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	不可	必要数 *	5室	条件	指揮者1室、司会者1室、コンサートマスター1室 オケ男性・オケ女性各1室(着替えがあるため)					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	大型バス	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tロング車(高さ3m11cm、長さ6m46cm、幅2m18cm)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			台車などで搬入できるフラットな導線の場合は問いませんが、階段や間口の狭い導線の場合は事前に要確認。					
	不可	搬入経路の最低条件			できる限りフラットで階段のない経路を希望します 雨風が当たらない屋根のある経路を希望します					
		理由			ティンパニやハーブなど大型楽器搬入のため 搬入時間を最短にするため					
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m				
WSIについて	可	参加可能人数			400名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	できる限り全学年			
	不可	所要時間の目安 単位:分			90分程度(公演時間が押さないよう、途中休憩はなし)					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			400名程度まで					
	不可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8~10m	奥行	5~8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		楽器ケース等が置けるスペース確保ができる状態			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	—				指定位置へのピアノの移動 *			不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。	
	—	ピアノの調律・移動の要否			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		可能であれば収納した状態をお願いします。				
	—	公演に必要な電源容量			不要		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	不可	冬時期に開催予定の場合は、会場と控え室にヒーターの手配をお願いする事があります。								

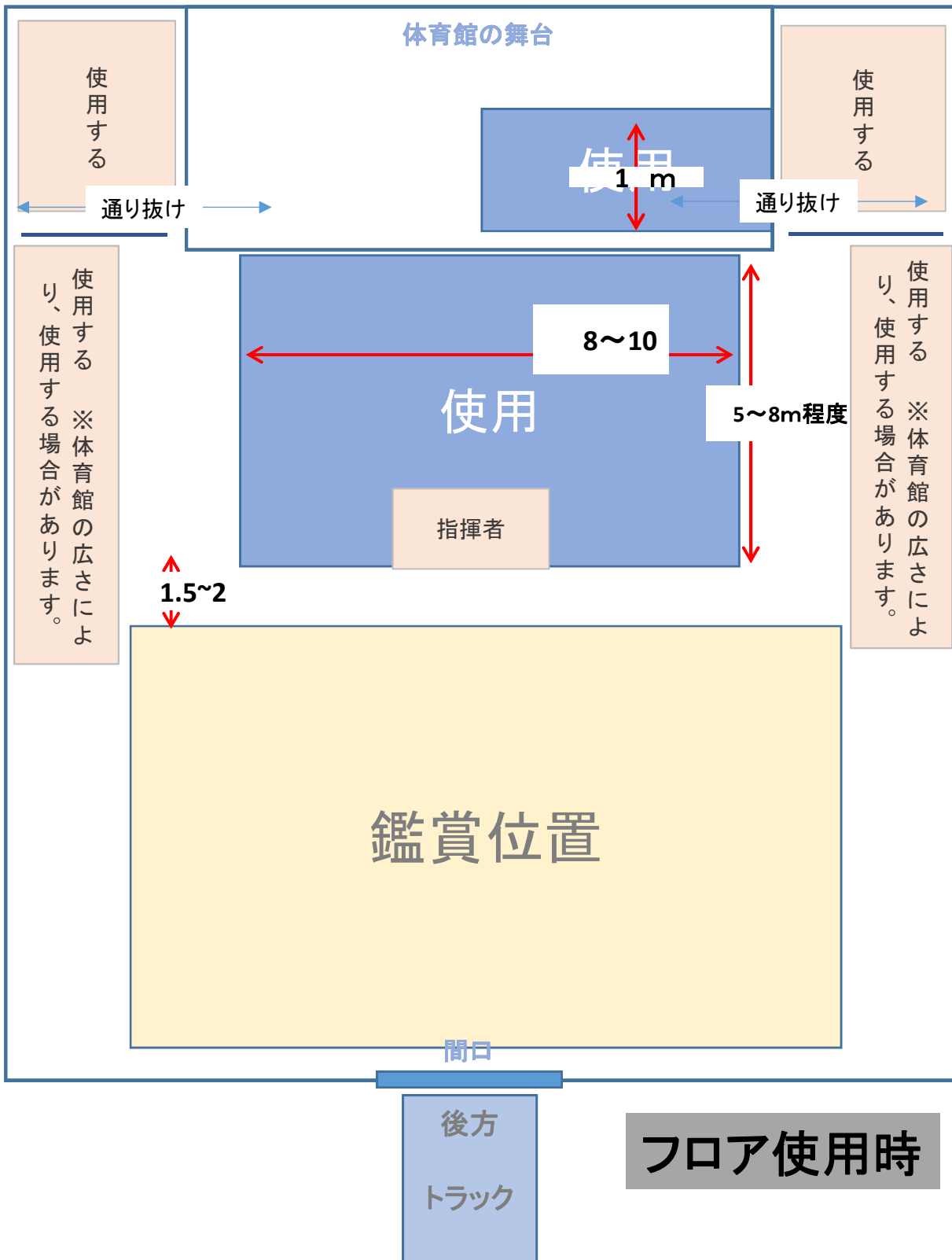
ワークショップ会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	-	高さ	-
搬入車両の横づけの可否	否(WSでは大きい楽器の搬入はありません)			
横づけができない場合の搬入可能距離	-			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

本公演会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない(ただし室内を移動できること、段差が無いと尚良い)			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

管弦楽:

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約130人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

東京・渋谷の Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野隆文

指揮:

円光寺 雅彦

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を齋藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スイトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。



©三浦興一

司会:

塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。これまでに、数多くの演奏会やオペラに出演。2015年より、応募者多数の中からオーディションに合格しBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして活動、司会やナレーションも務める。また、論語指導士の資格を取得し、子ども論語ワークショップの講師を務める。クラシックから子どもの歌まで、ジャンルを越えて活動するソプラノ歌手。特技はなわとび。



令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



知っていますか?

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程	開催校	地元主催者
10月28日(月)	名古屋市立玉川小学校	名古屋市
10月29日(火)	可児市立南帷子小学校	岐阜県
10月30日(水)	犬山市立東小学校	愛知県教育委員会/犬山市教育委員会
10月31日(木)	海津市立西江小学校	岐阜県/海津市教育委員会
11月1日(金)	愛西市立草平小学校	愛知県教育委員会/愛西市教育委員会

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

月日のワークショップから、
みんなで準備してきました

顔が見えるほど
近い距離で東京フィルを
聴けてよかった!



オーケストラの楽器もご紹介。



「ハイ!」
ボディパーカッションで
音楽に合わせてポーズ!

ボディパーカッション、
きちんと練習して
おきたいと思います!



みんなの「浜辺」の
体験やイメージは?



「ありがとう!」
「またコンサートで会おうね!」

コンサートでは
オーケストラ全部の
楽器が大集合!



そして今日!

速さにびっくり!
きれいな音でびっくり!
大迫力にびっくり!

東京フィルがやってきた!

プログラム

- アンダーソン: 舞踏会の美女
- (楽器紹介コーナー) オーケストラの楽器、紹介します
- (指揮体験コーナー) ブラームス: ハンガリー舞曲第5番
- シヤーマン兄弟: 小さな世界
- ベートーヴェン: 交響曲第5番『運命』第1楽章より
- 成田為三: 浜辺の歌
- オーケストラの名曲を聞いてみよう



オーケストラと
からだを動かしてみよう!

オーケストラと
「日本の歌」を歌おう!

解説

文: 柴田克彦

アンダーソン (1908-1975):
舞踏会の美女

アンダーソンは、短くてわかりやすい「ライト・クラシック」と呼ばれるオーケストラ作品の数々で高い人気を集めたアメリカの作曲家。彼が1951年に書いたこの曲は、美しい女性が舞踏会で踊っている姿をえがいた優雅なワルツです。のちに歌詞が付けられ、ポピュラー・ソングとしてもヒットしました。

ベートーヴェン (1770-1827):
交響曲第5番『運命』
第1楽章より

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の「ジャジャジャ・ジャー」という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した「ボディパーカッション」で、オーケストラといっしょに表現しましょう!

林古溪 (1893-1945) 作詞
成田為三 (1893-1945) 作曲
浜辺の歌

今から100年以上も前(大正5(1916)年)に作られた日本の歌。「浜辺を歩いていると、昔のことを思い出す」といった歌詞が、しみじみと歌われます。成田為三は、秋田に生まれ、山田耕筰に学んだ童謡作曲家で、児童雑誌「赤い鳥」に多数の歌を発表しました。代表作であるこの曲は外国の音楽家をふくめて広く親しまれています。



みんなで鳴らそう!
ボディパーカッション

ロック
のリズム



ラテン
のリズム



日本
のリズム



……クラシックはどんなふうに表現するかな?
「運命」をいっしょにやってみよう!

日本の歌を歌おう!
「浜辺の歌」

作詞: 林古溪 作曲: 成田為三

1. あした浜辺を さまよえば
昔のことぞ しのばるる
風の音よ 雲のさまよ
寄する波も 貝の色も

2. ゆうべ浜辺を もとおれば
昔の人ぞ しのばるる
寄する波よ 返す波よ
月の色も 星の影も

歌の「ク」を「ク」でかきまわそう!

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	<u>歌舞伎・能楽</u> , 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんきょうとうのうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長 武田市和		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)		
電話番号	075-863-5120	FAX番号	075-320-1580
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんきょうとうのうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長 武田市和		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)		
制作団体 設立年月	1918年12月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 武田市和 理事 左鴻泰弘 理事 吉阪一郎 理事 成田有辞 理事 前川光範 監事 西村保美	京都を主な活動地域とする玄人能楽師囃子方 24名	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	谷口正壽

経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	経理責任者名	成田有辞
制作団体沿革	<p>大正 7 年、在京都の能楽囃子方が集まり「同盟会」を立ち上げました。戦中戦後の混乱期に一時自然解散しましたが、昭和 30 年「同和会」として再出発しました。以後、毎年1回囃子方ならではの公演に取り組み、昭和 61 年に、名称を「同明会」に改めました。平成 15 年より 8 年間、能楽囃子の音楽性にスポットを当てた、「囃子堂」公演にも取り組み、「同明会能」とあわせて毎年2回の公演を行ってきました。平成 24 年 10 月に一般社団法人京都能楽囃子方同明会として法人を設立。25 年度よりワークショップを中心とした学校公演や、子ども達だけで実演する、こども能楽囃子教室など次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。</p>		
学校等における 公演実績	<p>平成 29 年度 「こども能楽囃子教室」2 公演 「能楽囃子講座」1 公演 「囃子堂」2 公演 平成 30 年度 「こども能楽囃子教室」2 公演 「能楽囃子講座」1 公演 令和元年度 「こども能楽囃子教室」2 公演 「能楽囃子講座」1 公演 「体験、体感、能楽の世界」1 公演</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>平成 27 年度 青森県立若葉養護学校 平成 28 年度 長崎県立虹の原特別支援学校 平成 30 年度 福島県立相馬支援学校</p>		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	音楽として聴く能「囃子堂」		
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ) 休憩 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー <div style="text-align: right;">公演時間(95分)</div>		
著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 …居住まいを正し、きちんと挨拶をしたあと、能楽の概要や歴史をわかりやすく説明します。 2. 各楽器解説…各楽器の説明をして、能囃子の音楽としての魅力を解説します。 3. 早笛…龍神や鬼が登場する際に演奏される軽快で、ハイテンポな登場の音楽です。 4. カケ声で表現してみよう…能楽囃子の特徴であるカケ声を体験して頂きます。カケ声のかけ方でどんな感じに聞こえるのか、間の取り方がどんな風に変わるのかを体験します。 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ)…大ベシは早笛と同じ旋律・リズムパターンですが、テンポが極端にゆっくりで、力強く超高速での移動を表現します。早笛と比較することで能楽囃子の表現法を学びます。流シでは、互いの気を感じて打つ能楽囃子の最高技法を体験します。 休憩 希望者は小鼓と大鼓を体験できます。(ふれあいタイム) 6. 三番三共演…翁に付随する狂言の舞曲です。大変めでたい曲で、同じリズムを繰り返し演奏します。児童・生徒と共演することで会場全体が一体となる楽しい演奏としたいと思えます。 7. 神楽…天照大神が隠れた、天岩戸の前で天鈿女命が舞う舞曲です。リズム、ノリの変化に富み、高い演奏技術が要求される楽曲で、大変緩急の激しく観る者をワクワクさせる曲です。 8. 獅子…文殊菩薩の霊獣獅子の舞曲です。静と動・間合のやりとり・気迫が充実した曲で、これぞ能楽囃子の真髄と言えます。 		

	<p>9. 終わりの挨拶と質問コーナー…様々な疑問にお答えします。最後に始まりと同じく、居住まいを正して、きちんと挨拶をします。</p>		
演目選択理由	<p>能楽は、演劇・舞踊・音楽・文学・美術など様々な要素が入った、総合芸術です。この公演は能楽の音楽である、囃子にスポットを当て、独自の音楽性を紹介します。</p> <p>内容は、大人が聞いても十分に満足のいく芸術性の高い曲ばかりで、退屈しないようテンポの速く軽快な「早笛」、ゆったりと重厚な「大ベン」、舞曲の原点と言える「神楽」、気迫が充実した「獅子」などを織り交ぜ、能楽囃子の魅力をわかりやすく伝えられるように選曲しました。</p> <p>児童生徒との共演曲「三番三」は同じリズムの繰り返しなので児童生徒でも演奏しやすいことから選びました。</p> <p>この公演は、特に能楽囃子の魅力が感じられる演目ばかりです。ともすれば難解と言われる能楽でも、音楽である囃子ならば理解と言うものを必要とせず、純粹に見て聞いて面白いと感じて頂けます。</p> <p>能楽囃子は、わずか4人で30人のオーケストラに匹敵するといわれます。その力の源は「気迫」にあります。「気迫」とは、見える物ではなく、聞こえる物でもなく、感じるものです。この、目には見えない、耳には聞こえない「何か」を感じとることで、現代日本人が忘れてしまった五感以外の感覚を呼び覚まし、子ども達の感性を育みたいと思います。</p> <p>能楽の「魅力」「迫力」を存分に伝え、西洋の「ド・レ・ミ」(絶対の音楽)とは全く違う、日本独自の能楽(相対の音楽)の素晴らしさが伝わる公演にしたいと思います。</p>		
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	<p>児童生徒共演のコーナーでは、児童生徒達は、ワークショップで体験した「三番三」の小鼓を打ちます。事前に選抜した1組5名の児童生徒が、実際に楽器を持ち、小鼓を打ちます。この時、出演能楽師の笛、大鼓が加わります。選ばれなかった児童生徒達も、エア小鼓(手拍子)で参加し、全員でカケ声をかけて、会場全体での共演となります。</p> <p>カケ声で表現してみようでは、能楽囃子の基本である、カケ声を全員で体験します。</p> <p>休憩中に、希望者は小鼓と大鼓の体験ができます。直にふれあうことで、児童生徒達と能楽師の距離を縮めたいと思います。</p>		
出演者	<p>笛 杉市和、森田保美、左鴻泰弘、杉信太朗の内1名 小鼓 林吉兵衛、吉阪一郎、曾和鼓堂、古田知英、林大和、林大輝の内1名 大鼓 河村 大、石井保彦、谷口正壽、井林久登、渡部論の内1名 太鼓 前川光長、井上敬介、前川光範の内1名 案内人 谷口正壽、唐錦崇玄の内1名 (太字は重要無形文化財総合指定保持者) 計5名</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 5名 スタッフ: 1名 合計: 6名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 0.7t 車長 4.8m 台数 1台</p>

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(0.5 時間程度) <table border="1" data-bbox="416 703 1431 864"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 703 544 779">到着</th> <th data-bbox="544 703 794 779">仕込み</th> <th data-bbox="794 703 999 779">本公演</th> <th data-bbox="999 703 1107 779">内 休 憩</th> <th data-bbox="1107 703 1305 779">撤去</th> <th data-bbox="1305 703 1431 779">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 779 544 864">11 時 30 分</td> <td data-bbox="544 779 794 864">11 時 30 分～12 時</td> <td data-bbox="794 779 999 864">13 時 30 分～ 15 時 5 分</td> <td data-bbox="999 779 1107 864">10 分</td> <td data-bbox="1107 779 1305 864">15 時 30 分～ 15 時 50 分</td> <td data-bbox="1305 779 1431 864">16 時</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出	11 時 30 分	11 時 30 分～12 時	13 時 30 分～ 15 時 5 分	10 分	15 時 30 分～ 15 時 50 分	16 時
到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出													
11 時 30 分	11 時 30 分～12 時	13 時 30 分～ 15 時 5 分	10 分	15 時 30 分～ 15 時 50 分	16 時													
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	150 名																
	本公演	800 名																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>公演当日に共演する「三番三」の小鼓を指導します。</p> <p>能楽という日頃見ることのない芸術を親しみやすく伝えるため、それぞれの専門家である、小鼓方・笛方・大鼓方(全員能楽師)の計3名でワークショップをします。なぜカケ声を掛けるのか、正座をして演奏するのか、そして何が必要なのかを解説します。カケ声をかけるのを恥ずかしがる子供が多いと思われるので、まずは声を出す練習に力を置きます。</p> <p>能楽は日常の稽古が大切です。ワークショップ終了後に、小鼓の構え方、打ち方の練習用に“MY 小鼓”(小鼓のレプリカ)をお貸しします。それを使って繰り返し練習してもらいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まりの挨拶…居住まいを正し、きちんと挨拶します。 2. 能楽ってなあに?…能楽の構成や特徴をわかりやすく説明します。 3. 小鼓ってどんな楽器?…小鼓の打楽器でありながら、一つの楽器で音色を変えられる、世界的に見ても類い希な構造や演奏法を紹介します。 4. 大鼓ってどんな楽器?…大鼓は小鼓とよく似ていますが、性質は全く正反対です。特徴と演奏法を紹介します。 5. 能楽囃子を聞いてみよう。…「安宅瀧流」を実演します 6. カケ声を掛けよう。…みんなでカケ声を掛けてみよう。どうしてカケ声を掛けるのか、掛けないとどうなるのかを解説します。 7. 小鼓と大鼓を体験しよう。…児童生徒達に実際に、楽器に触れていただきます。 <p style="text-align: center;">休 憩 10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 能楽囃子を聞いてみよう。…公演当日に共演する「三番三」を実演します。 10. 小鼓を打ってみよう。…公演当日に、共演する「三番三」の小鼓を指導します。 11. 質問感想コーナー…不思議に思ったこと、興味を持ったことなど、何でもお答えします。 12. 終わりの挨拶…始まりと同じく居住まいを正してきちんと挨拶をします。 <p style="text-align: right;">(95 分)</p>																	

	<p>ワークショップ終了後、“My 小鼓”（小鼓のレプリカ）を使って練習して小鼓の構え方、打ち方を習得してもらいます。練習用の My 小鼓をお貸しします。</p> <p>能楽は日常の稽古が大切です。公演当日まで繰り返し練習できるようにお稽古用 DVD をお渡しします。</p>
ワークショップ実施形態の意図	<p>西洋式の生活スタイルになった現代において、能楽は、日常から縁遠い芸術かも知れませんが、このワークショップは、和気あいあいと、子ども達とふれあいながら、能楽の基本を紹介します。子ども達には、能楽とは特別・特殊なものではなく、身近なものだと感じてほしいと思います。そして、日本の伝統的な姿勢やカケ声・間を知り、世界に誇る能楽の特徴を理解して、「肚を据えて、気を込める。」ことを体験することにより、日本人が元来持っている、芯の強さを身に付けて欲しいと思います。</p> <p>能楽は礼に始まり、礼に終わります。挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。姿勢を正し、心を添えて挨拶することで、相手への尊敬を表します。互いに尊敬し合うことで、自他の存在を認め、心を開き近づくことができると知って欲しいと思います。</p>
特別支援学校での実施における工夫点	<p>学校側と緊密に連絡を取り、事情に応じて、できるだけ可能な範囲でのワークショップを行い、公演につなげます。</p> <p>具体的には、解説を省き、カケ声体験。手拍子での囃子体験に重点を置く。実際に楽器に触れる、肌で感じる公演にする。楽器の共演が難しいときは、カケ声での共演にするなど、臨機応変に様々な形で、児童生徒達の心に残る、肌で感じる、公演・ワークショップにします。</p>
実施可能時期	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

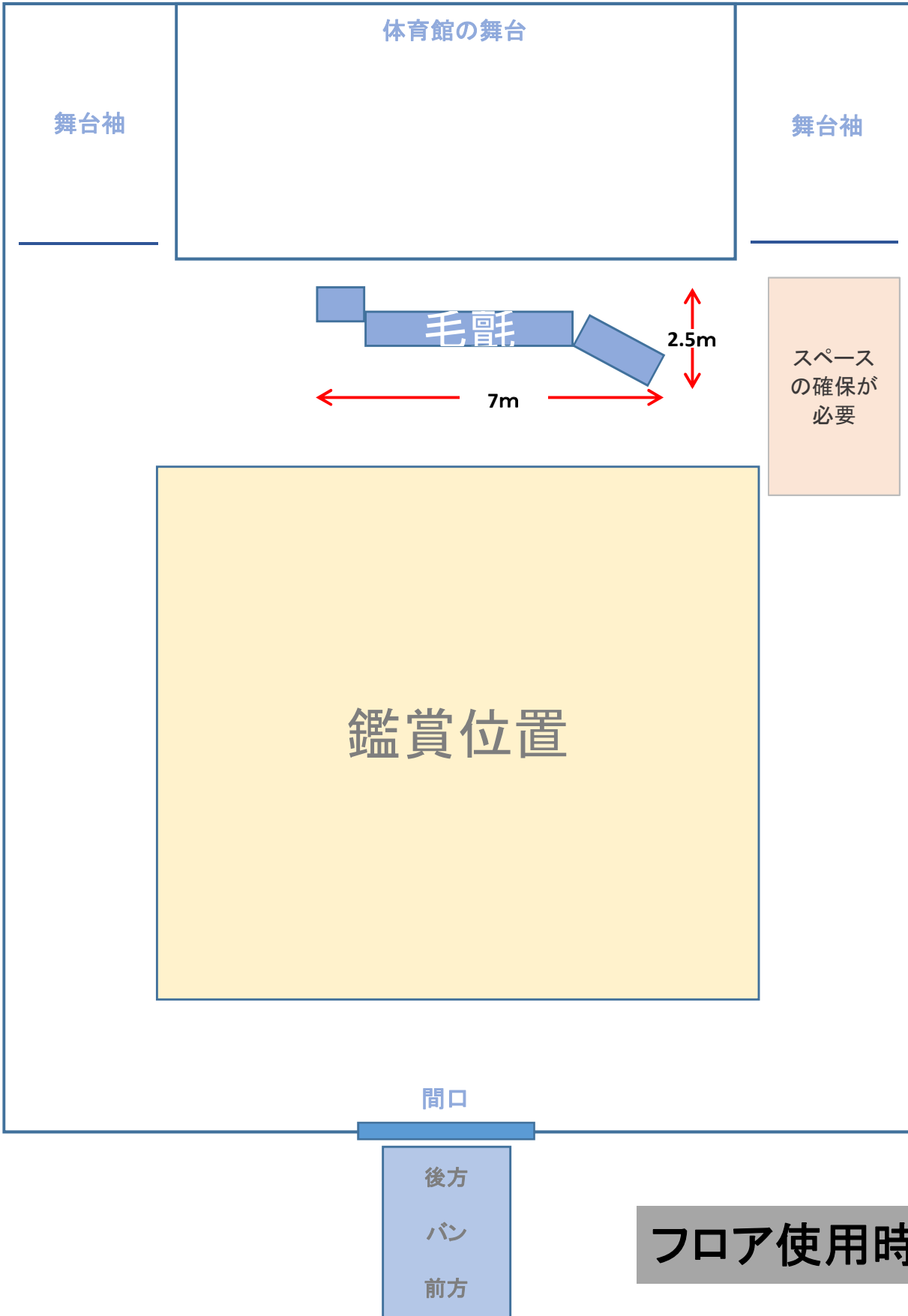
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K120	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	K	区分	C区分
公演団体名	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会				制作団体名	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会			

① 会場条件等についての確認

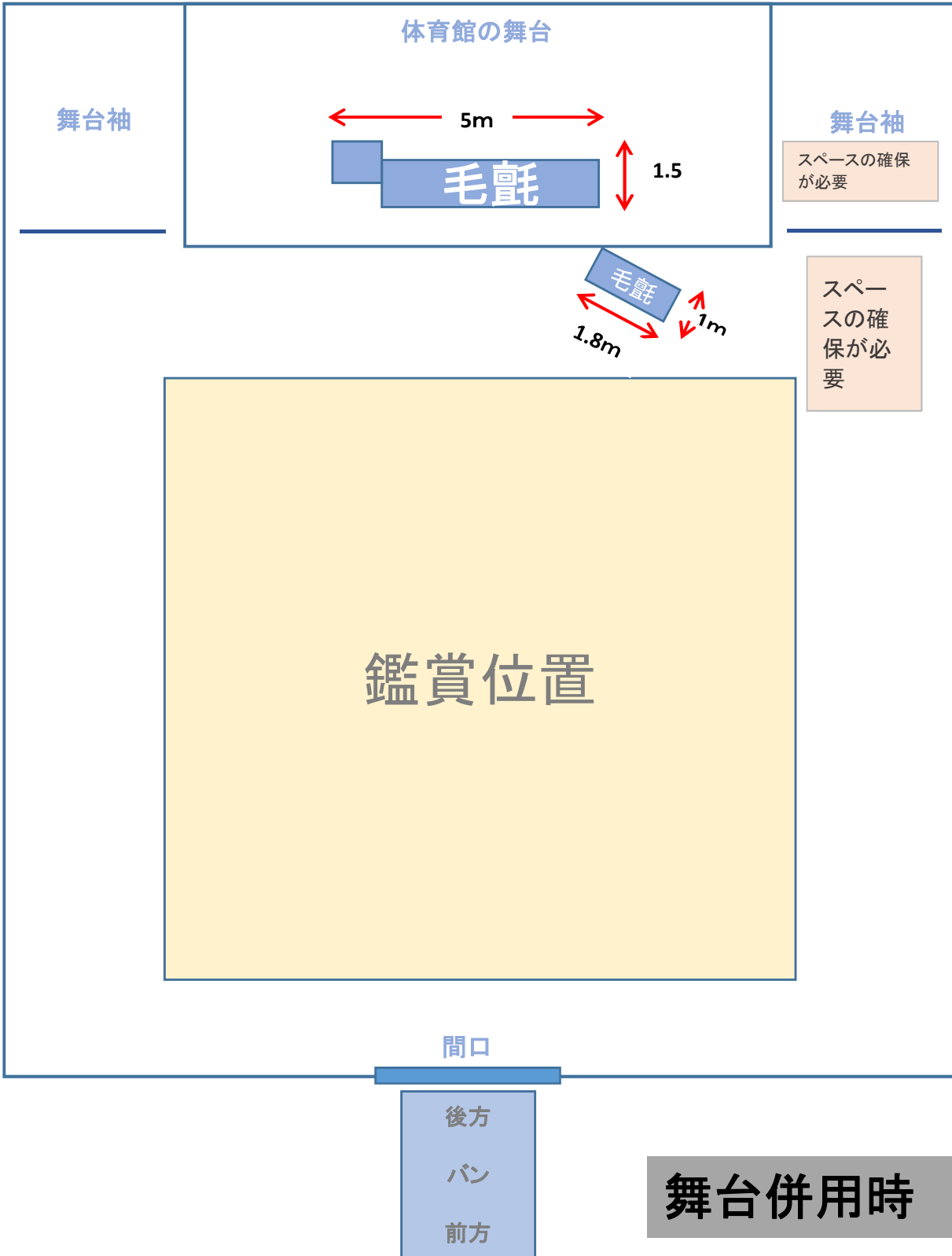
項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特になし。					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン 1台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン1台					
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	—	搬入経路の最低条件			特になし。					
	—	理由								
	—	設置階の制限 *			問わない					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m				
WSについて	可	参加可能人数			150名					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *				
	可	所要時間の目安 単位:分			95分					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			800名					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	7m	奥行	2.5m	高さ	1.8m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			4名が控えられるスペース		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			不要		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項										

会場図面1(表記単位:メートル)



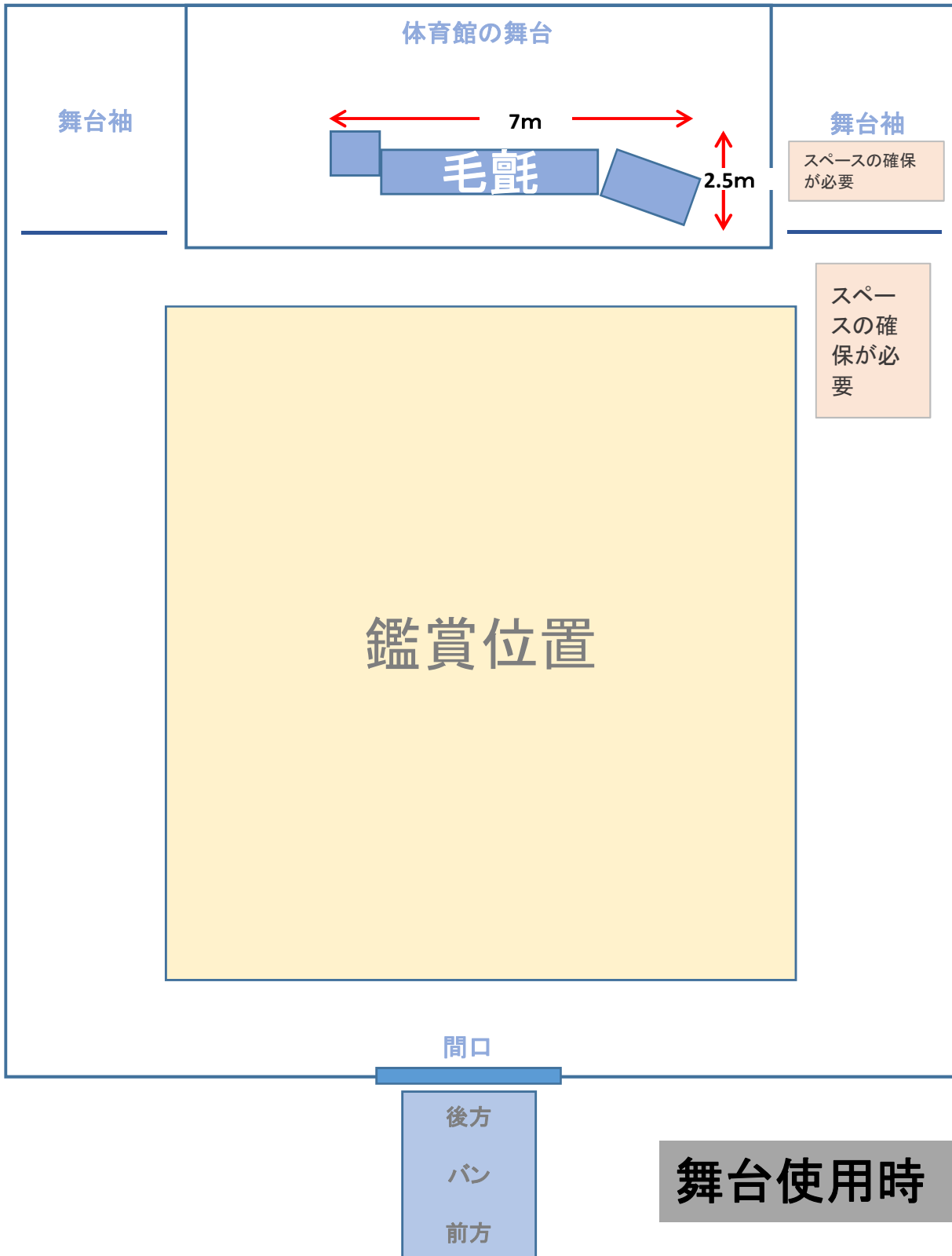
搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

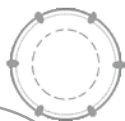
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



大きな声で
 かけ声をかけよう！



は や し ど う
 雑子堂
 音楽として聴く能



能楽師と一緒に
 ワークショップで練習した
 「三番三」の小鼓を発表しよう！



いっばんしゃだんほうじんきょうとのうがくはやしかた
 一般社団法人 京都能楽雑子方
 どうめいかい
 同明会

ふんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
 文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

はじめの挨拶と能楽の歴史の紹介	ふえ こつつみ おおつづみ たいこ がつき ひみつ せま 笛、小鼓、大鼓、太鼓。楽器の秘密に迫ろう。
各楽器解説	けいかい どうじょう おんがく き 軽快でハイテンポな登場の音楽を聴こう
「早笛」	かえ たいけん カケ声で表現してみよう
カケ声で表現してみよう	かえ なに ひょうげん カケ声を体験しよう。カケ声で何が表現できるかな？
能楽囃子の表現法	はやし なに ふう ひょうげん 囃子って、何をどんな風に表現するのかな？能楽囃子の最高技法を体験しよう。
・・・休憩・・・	
「三番三」共演	ひこくほうじょう いの いっしょ えんそう 五穀豊穡を祈って、一緒に演奏しよう！
「融」舞返	うが きぞく まい はやし き えんそう 優雅な貴族の舞の囃子を聴こう。いろんな演奏テクニックが詰まっているよ。
「獅子」	どう せい きはく のうがくはやし しんずい かん 動と静。気迫。能楽囃子の真髄を感じよう。
質問感想コーナーと終わりの挨拶	

スケジュール

実施日程	実施校	地元主催者名
6月24日(月)	静岡市立中薬科小学校	静岡市教育委員会
6月25日(火)	河津町立東小学校	静岡県
6月26日(水)	真鶴町立まなづる小学校	神奈川県教育委員会 / 真鶴町教育委員会
6月27日(木)	川崎市立榎ヶ谷小学校	川崎市教育委員会
9月9日(月)	横須賀市立走水小学校	神奈川県教育委員会 / 横須賀市教育委員会
9月10日(火)	三浦市立剣崎小学校	神奈川県教育委員会 / 三浦市教育委員会
9月12日(木)	阿南町立阿南第二中学校	長野県教育委員会 / 阿南町教育委員会
9月30日(月)	富山市立古沢小学校	富山県教育委員会 / 富山市教育委員会
10月1日(火)	富山市立音川小学校	富山県教育委員会 / 富山市教育委員会
10月2日(水)	羽咋市立余喜小学校	石川県 / 羽咋市教育委員会
10月3日(木)	小松市立木場小学校	石川県 / 小松市教育委員会
10月28日(月)	海津市立海西小学校	岐阜県 / 海津市教育委員会
10月29日(火)	郡上市立大和北小学校	岐阜県
11月12日(火)	若狭町立気山小学校	福井県 / 若狭町教育委員会
11月13日(水)	岐阜市立茜部小学校	岐阜県 / 岐阜市教育委員会
11月14日(木)	南知多町立師崎小学校	愛知県教育委員会 / 南知多町教育委員会
11月22日(金)	小浜市立中名田小学校	福井県 / 小浜市教育委員会
12月9日(月)	森町立泉陽中学校	静岡県
12月10日(火)	豊根村立豊根中学校	愛知県教育委員会 / 豊根村教育委員会
12月11日(水)	岡崎市立奏梨小学校	愛知県教育委員会 / 岡崎市教育委員会

出演

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
ふえ	さこう やすひろ	あいはら かずひこ	あいはら かずひこ	すぎ しんたろう	もりた やすよし	すぎ いちかず	もりた やすよし
こつつみ	はやし やまと	そわ ごとう	はやし やまと	ふるた とむで	吉阪 一郎	そわ ごとう	はやし ひろみ
おおつづみ	いしい 智博	たにぐち まさとし	いしづみ ひさこ	あいらん かつら	11/14 吉田 昭英	わたなべ せだい	あいらん かつら
たいこ	いづみ けいすけ	まえかわ みつな	まえかわ みつな	まえかわ みつな	井上 敬介	まえかわ みつな	まえかわ みつな
あんないん	たにぐち まさとし	からにきたかほる	からにきたかほる	たにぐち まさとし	たにぐち まさとし	たにぐち まさとし	たにぐち まさとし
案内人	谷口正壽	唐錦崇玄	唐錦崇玄	谷口正壽	谷口正壽	谷口正壽	谷口正壽

プロフィール

いっばんしゃだんほうじん きょうとうのうがくはやしかた どうめいかい
一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

京都を活動の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演「同明会能」や能楽囃子の音楽性にスポットを当てた「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした「学校公演」、子供達だけで実演する「こども能楽囃子教室」など、次世代に能楽の魅力伝える活動を展開しています。大正7年の創立です。

ウェブサイト <http://noh-doumeikai.com>

はやしどう？

絵：まゆか



知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。